

2006年5月期 決算説明資料



 **三菱子産業株式会社**

(証券コード:3321)

2006年7月10日



目次

I. ミタチ産業の概要

II. 2006年5月期 決算概要

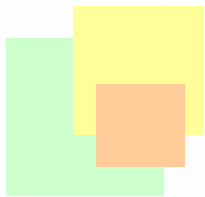
III. 2007年5月期 業績見通し

IV. 今後の方向性

中期経営計画「Mitachi Vision 2008」について

将来の予想に関する注意事項

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



I. ミタ子産業の概要

1. 会社概要

- 本社所在地 : 愛知県名古屋市
- 創業年月 : 1972年9月 (設立年月: 1976年7月)
- 資本金 : 5億2160万円 (06年5月末)
- 代表者 : 代表取締役社長 橋 至朗
- 従業員数 : 140人(06年5月末、単体就業人員数)
- 上場年月 : 2004年4月 東証・名証二部上場
: 2005年5月 東証・名証一部上場
- 事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
- 売上高 : 253.8億円 (06年5月期、連結)
- 経常利益 : 8.0億円 (06年5月期、連結)
- 当期純利益 : 4.7億円 (06年5月期、連結)

2. 主な取扱商品

商品分類	主な取扱商品
半 導 体	汎用半導体（トランジスタ、ダイオード、汎用IC等）
	オプトデバイス（LED、フォトカプラ、フォトIC等）
	システムLSI（ASIC、カスタムIC、CPU等）
	パワー素子（IGBT、パワーMOS等）
液 晶	液晶モジュール
電 子 部 品	固定抵抗器、可変抵抗器
	コンデンサ
	コネクタ
	スイッチ
	水晶振動子、発信器
ユニット・アセンブリ	組付加工（受託加工）全般
	超小型ボードコンピュータ「MIU Card」
そ の 他 (産業機器、コンポーネント、他)	産業用ロボット（チップマウンター等）
	モーター
	GPSモジュール
	ハードディスク

3. ミタチ産業のグループ会社

ミタチ産業グループは国内2社、海外4社の計6社にて構成されています。
今後も顧客ニーズにあわせ、グローバルな事業展開を図ってまいります。



ミタチ産業株式会社

半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造

大洋電機株式会社

抵抗器の製造販売、電子部品機器等の販売

M. A. TECHNOLOGY, INC.

オプトデバイス、化合物半導体、
自動車用電子基板のOEM生産

美達奇（香港）有限公司

電子部品・電子デバイス販売、調達

台湾美達旗股份有限公司

電子部品、電子デバイス販売、調達

敏拓吉電子（上海）有限公司

半導体・電子部品機器等の販売、
電子機器等の受託製造

4. 当社の経営理念 (社名の由来)



お客様

当社
株主様

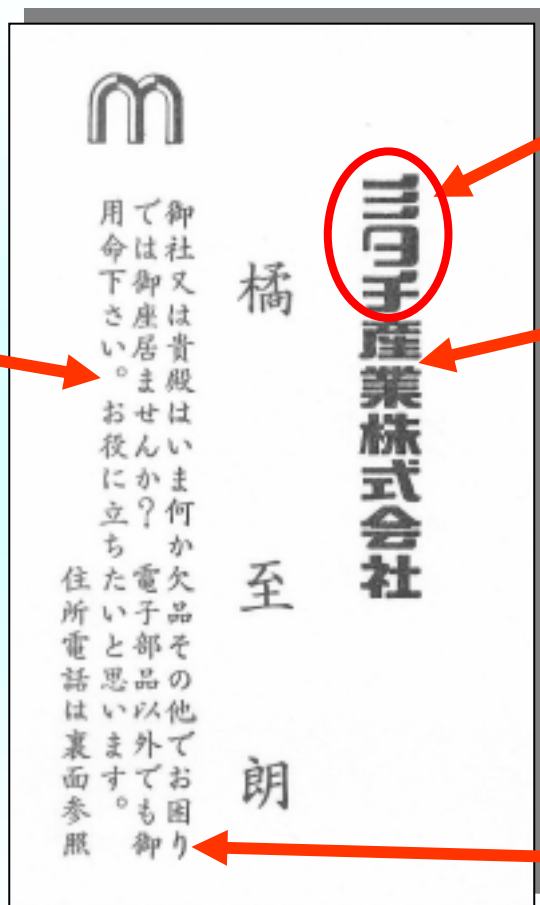
仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ(お客様、当社・株主様、仕入先様)という三位一体の精神に由来しています。
また、シンボルマークはミタチのイニシャル「m」と「ガールの水道橋」のアーチをモチーフに生まれました。

4. 当社の経営理念（創業の精神について）

脱サラで始めた会社「ミタチ産業」。創業の精神が当社のDNAです。

御社又は貴殿はいま何か欠品その他で
お困りでは御座居ませんか？
電子部品以外でもご用命下さい。



①お客様と仕入先を繋ぐ橋（三位一体）

②産業であるから、当社は電子部品、半導体にとらわれない事業展開ができる

③お客様の問題解決

当社創業当時の名刺

4. 当社の経営理念（経営哲学について）

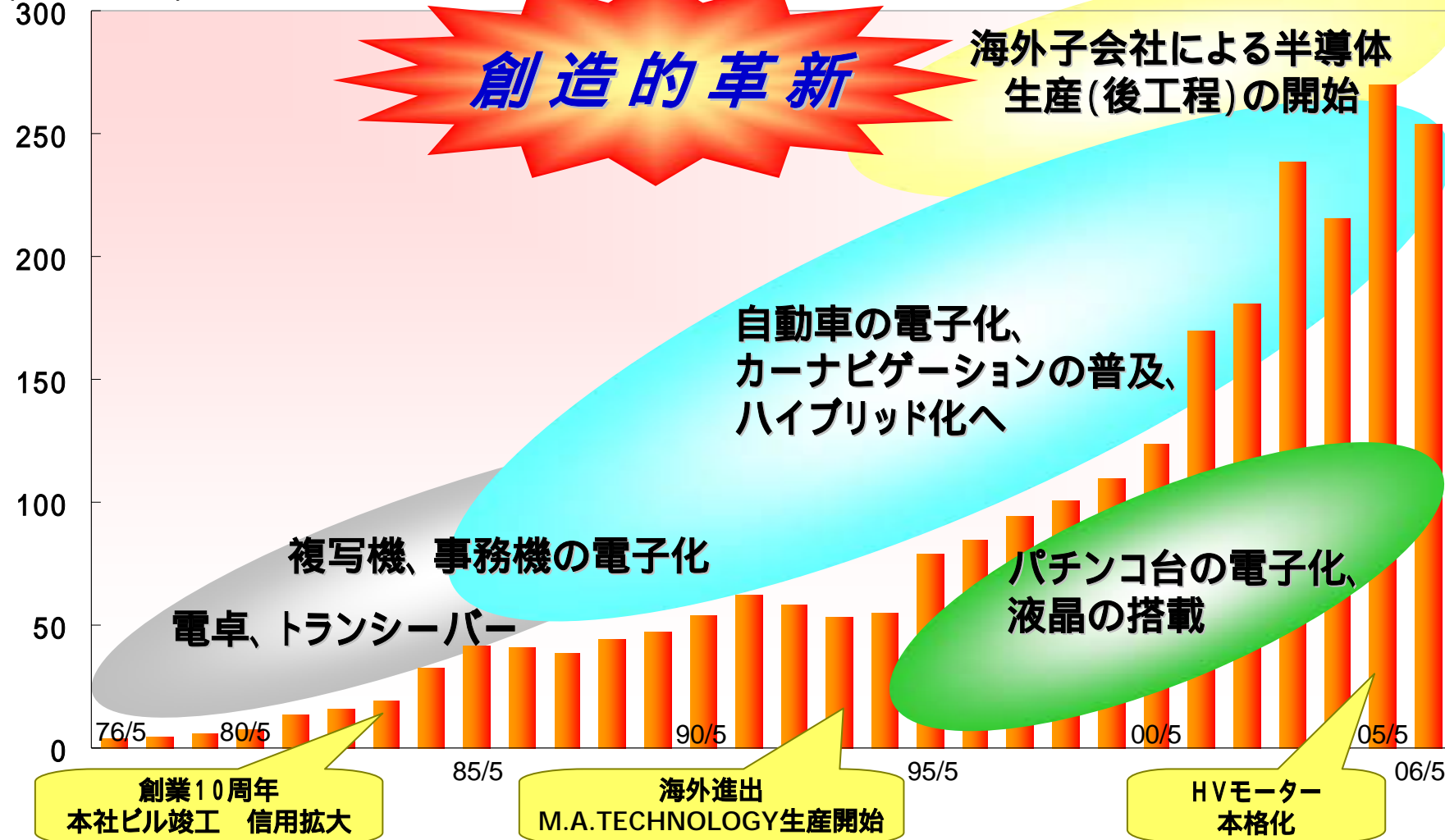
社員はミタチの経営哲学を胸に刻み、日々の業務を遂行しています。

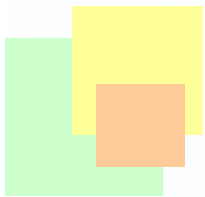


5. 事業の変革および業績推移

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





Ⅱ .2006年5月期 決算概要

連結 決算実績

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)	第29期 (2005年5月期)	第30期 (2006年5月期)			
	通期	通期	通期	前期比	予想	予想比
売上高	21,513	27,008	25,380	△ 6.0%	25,750	△ 1.4%
売上総利益	2,384	2,606	2,566	△ 1.5%	-----	-----
営業利益	860	843	714	△15.3%	660	+ 8.2%
経常利益	826	946	803	△15.1%	750	+ 7.1%
当期純利益	489	549	473	△13.7%	440	+ 7.7%

売上高	<ul style="list-style-type: none"> 自動車業界はハードディスクが大きく増加、ハイブリッドモーター、EMSなどは堅調に推移 アミューズメント関連業界は、特に液晶関連の受注が第31期へシフトし大きく減少
売上総利益	<ul style="list-style-type: none"> プロダクトミックスの変化により、売上総利益率が対前期比で0.5ポイント改善 (第29期通期9.6%→第30期通期10.1%)
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> 営業力強化に伴う人材拡充等により販管費が増加

单独 決算実績

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)	第29期 (2005年5月期)	第30期 (2006年5月期)			
	通期	通期	通期	前期比	予想	予想比
売上高	20,890	26,410	24,911	△ 5.7%	25,200	△ 1.1%
売上総利益	2,211	2,435	2,407	△ 1.1%	-----	-----
営業利益	789	808	701	△13.2%	640	+ 9.7%
経常利益	834	917	797	△13.1%	730	+ 9.2%
当期純利益	466	540	459	△14.9%	430	+ 7.0%

2. 部門別売上高 (連結)

部門別

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)		
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	前期比
デバイス部門	15,376	71.5%	18,696	69.2%	17,465	68.8%	△ 6.6%
海外部門	4,129	19.2%	4,120	15.3%	3,601	14.2%	△12.6%
ソリューション部門	1,258	5.8%	2,985	11.0%	3,528	13.9%	+18.2%
その他	748	3.5%	1,206	4.5%	785	3.1%	△34.9%
合計	21,513	100.0%	27,008	100.0%	25,380	100.0%	△ 6.0%

デバイス部門

・ アミューズメント向け液晶の受注が大幅減、自動車向け受注は堅調に推移

海外部門

・ オプトデバイスの受注が減少

ソリューション部門

・ 自動車および工作機械のEMS受注が好調に推移

その他

・ 電子部品実装機械が伸び悩む

3. 商品別売上高 (連結)

商品別

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)		
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	前期比
半 導 体	7,800	36.3%	8,746	32.4%	9,309	36.7%	+ 6.4%
液 晶	4,305	20.0%	4,280	15.8%	1,683	6.6%	△60.7%
電 子 部 品	3,202	14.9%	3,716	13.8%	3,538	13.9%	△ 4.8%
ユニット・アセンブリ	4,681	21.7%	6,996	25.9%	7,096	28.0%	+ 1.4%
そ の 他	1,524	7.1%	3,267	12.1%	3,751	14.8%	+14.8%
合 計	21,513	100.0%	27,008	100.0%	25,380	100.0%	△ 6.0%

半導体 ・ 自動車向け半導体が堅調に推移

液晶 ・ アミューズメント向けの落ち込みが大きく大幅減、自動車向けは引き続き堅調。

電子部品 ・ アミューズメント向け受注が減少

ユニット・アセンブリ ・ 国内で組付加工している工作機械制御盤とカーナビゲーション制御基板が好調

その他 ・ カーナビ用ハードディスクの販売が大きく増加
・ ハイブリッドカー用駆動・発電モーターが好調を維持

4. 業種別売上高 (連結)

業種別

単位:百万円

	第28期 (2004年5月期)		第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)		
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	前期比
自動車関連	7,591	35.3%	11,471	42.5%	12,628	49.7%	+10.1%
アミューズメント関連	6,391	29.7%	6,430	23.8%	3,494	13.8%	△45.7%
その他	7,530	35.0%	9,106	33.7%	9,257	36.5%	+ 1.7%
合計	21,513	100.0%	27,008	100.0%	25,380	100.0%	△ 6.0%

自動車関連

- ・ カーナビ用ハードディスクが売上拡大
- ・ ハイブリッドカー用駆動・発電モーター、EMSなど堅調に推移

アミューズメント関連

- ・ 大型液晶の受注が後倒しとなり大きく減少

その他

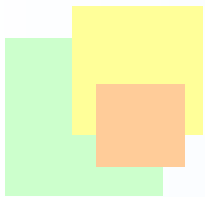
- ・ オプトデバイスの受注が減少したが、工作機械向けEMSが好調に推移

5. 仕入実績 商品別 (連結)

商品別 仕入実績

単位: 百万円

	第28期 (2004年5月期)	第29期 (2005年5月期)	第30期 (2006年5月期)	
	通期	通期	通期	前期比
半 導 体	6,668	7,932	8,245	+ 3.9%
液 晶	4,802	3,210	1,731	△46.1%
電 子 部 品	2,223	3,376	3,120	△ 7.6%
ユニット・アセンブリ	1,315	5,728	6,244	+ 9.0%
そ の 他	3,878	3,171	3,352	+ 5.7%
合 計	18,889	23,419	22,695	△ 3.1%



Ⅲ.2007年5月期 業績見通し

連結 業績見通し

単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)	第30期 (2006年5月期)	第31期 (2007年5月期)	
	通期	通期	通期予想	前期比
売上高	27,008	25,380	33,950	+ 33.8%
売上総利益	2,606	2,566	3,060	+ 19.2%
営業利益	843	714	820	+ 14.8%
経常利益	946	803	860	+ 7.1%
当期純利益	549	473	500	+ 5.5%

売上高	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連業界はハードディスク、ハイブリッドモーター、EMSなど引き続き堅調 アミューズメント関連業界は、大型液晶の受注が大幅に拡大 オプトデバイスの新規受託生産により拡大
売上総利益	<ul style="list-style-type: none"> 大型液晶の売上増加、オプトデバイスの受託生産増加による売上総利益率の低下。対前期比で1.1ポイント低下（第30期10.1%→第31期9.0%）。
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> 営業力強化に向けた人材投資、事業拡大に向けた研究開発の投資、業務の効率アップに向けたシステム投資や業務委託費用などの販管費が増加

2. 部門別業績見通し (連結)

部門別

単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)		第31期 (2007年5月期)		
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	前期比
デバイス部門	18,696	69.2%	17,465	68.8%	24,195	71.3%	+38.5%
海外部門	4,120	15.3%	3,601	14.2%	5,114	15.1%	+42.0%
ソリューション部門	2,985	11.0%	3,528	13.9%	3,500	10.3%	△ 0.8%
その他	1,206	4.5%	785	3.1%	1,141	3.4%	+45.3%
合計	27,008	100.0%	25,380	100.0%	33,950	100.0%	+33.8%

デバイス部門 ・ アミューズメント向け大型液晶の受注拡大、自動車向け受注は堅調に推移

海外部門 ・ オプトデバイスの受託生産が増加

ソリューション部門 ・ 自動車および工作機械のEMS受注は現状維持

その他 ・ 電子部品実装機械が受注回復

3. 業種別業績見通し (連結)

業種別

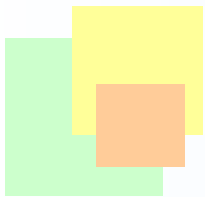
単位:百万円

	第29期 (2005年5月期)		第30期 (2006年5月期)		第31期 (2007年5月期)		
	通期	構成比	通期	構成比	通期	構成比	前期比
自動車関連	11,471	42.5%	12,628	49.7%	13,452	39.6%	+ 6.5%
アミューズメント関連	6,430	23.8%	3,494	13.8%	8,910	26.2%	+154.9%
その他	9,106	33.7%	9,257	36.5%	11,588	34.1%	+25.2%
合計	27,008	100.0%	25,380	100.0%	33,950	100.0%	+33.8%

自動車関連 ・ カーナビ用ハードディスク、ハイブリッドモーター、EMSなど堅調に推移

アミューズメント関連 ・ 液晶の受注拡大により大幅に売上増加

その他 ・ オプトデバイスの新規受託生産により売上拡大



IV. 今後の方向性

中期経営計画「Mitachi Vision 2008」について

中期経営計画「Mitachi Vision 2008」

2007年5月期を初年度とする中期経営計画「Mitachi Vision 2008」を策定

〈中期経営方針スローガン〉

“Creative Innovation for the Future”

～新しいビジネスモデルの創出により、さらなる飛躍を目指す！～

ミタチは今“第2の創業期”を迎え、
まさにダイナミックな転換点にある！




会社は成長を続ければ、
いつかは乗り越えなければ
ならない壁につきあたる…

新しいビジネス
モデルを創出！

2010年5月期
売上高550億円
の達成へ！

2. アプリケーション別 今後の動向

アプリケーション	今後の見通し	コメント
自動車		<p>カーナビ標準搭載やハードディスクナビの普及により、液晶、ハードディスク、EMS受注の増加が期待される。また、ハイブリッドカーでは自動車メーカー各社が増産や参入を表明しており、駆動・発電モーターの拡販、パワーデバイスの受注獲得が期待される。</p>
アミューズメント		<p>遊技機、ホール設備における高品位部品の搭載が進行。ファンの人気に業績が左右される懸念はあるが、メモリモジュール、大型液晶、有機EL、バックライトのリユースなど、新商材(ビジネス)拡販の好機。台数自体は現状維持だが、各ユニットにおける需要額は増加傾向。</p>
ソリューション		<p>オプトデバイスの受託加工を新規受注。携帯電話、デジタルカメラ向けなど様々な用途への拡販が期待される。工作機械関連の受託加工も好調が期待される。</p> <p>自社ブランド製品である超小型ボードコンピュータは、今後新製品の開発を本格化し、受注拡大を見込む。</p>

 今期の状況、成長性
  中長期の見通し
  サプライズ成長

3. 自動車業界向け新商材拡販 (1)

「カーナビゲーション市場の拡大」、「ハイブリッドカーの普及」を見込み、営業体制を強化し、自動車業界向け拡販に注力してまいります。

経営資源の投入

営業力の強化

成長市場への深耕・開拓

カーナビゲーション市場

液晶ディスプレイ

主に自動車メーカー純正「カーナビゲーション」向けに販売。同市場の伸展に伴い、さらなる受注拡大を見込む。

EMS

既にカーナビゲーション基板の組付けで受注実績あり。今後さらなる受注拡大を目指す。

ハードディスク

ハードディスク型「カーナビゲーション」のニーズ拡大に伴い、今後の受注増を見込む。

ハイブリッドカー市場

駆動・発電モーター

既に「ハイブリッドカー」向けに販売。今後同商品の普及に伴い、さらなる拡販を見込む。

ウォーターポンプ用セミカスタムIC

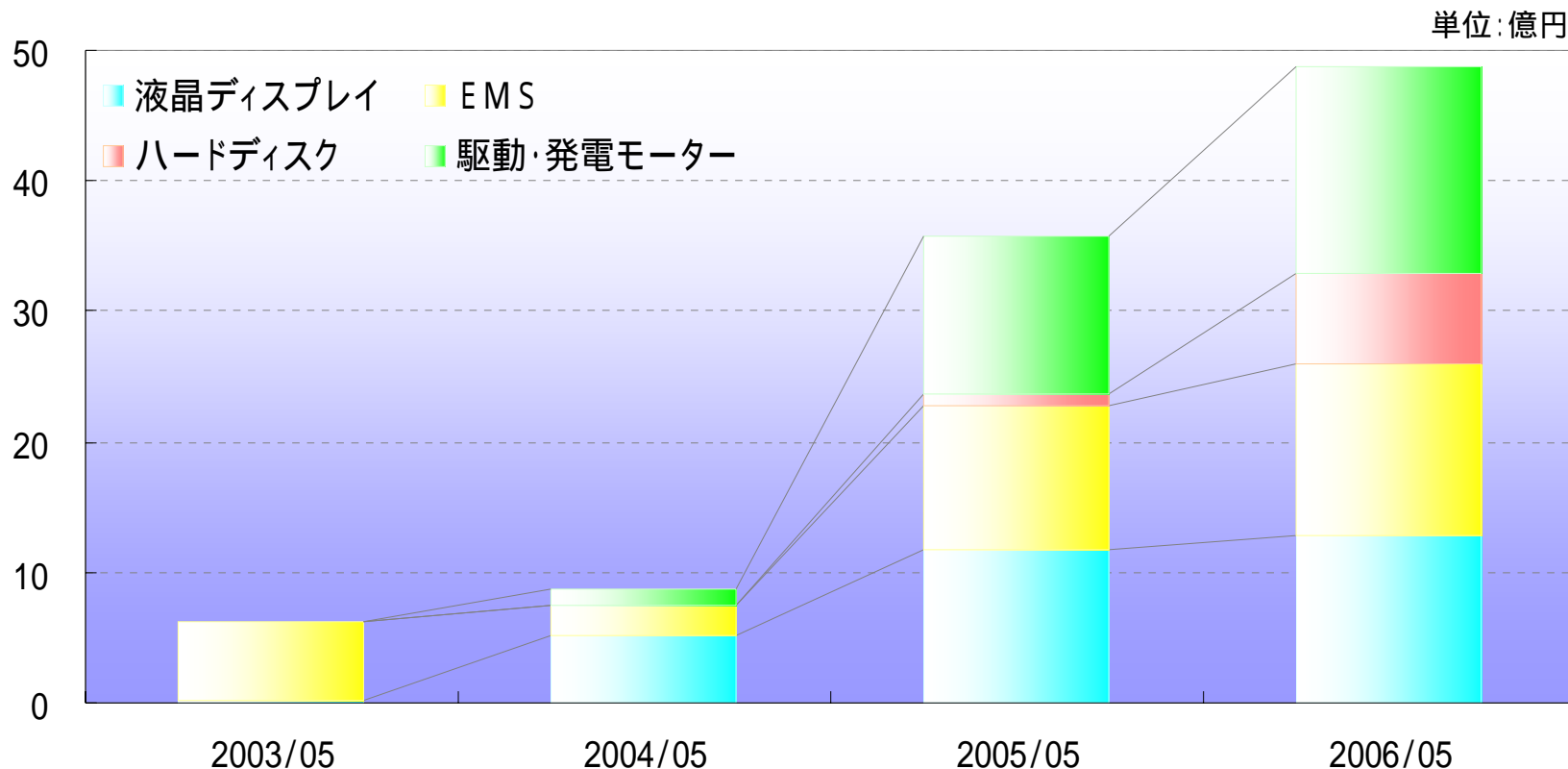
「ハイブリッドカー」向けウォーターポンプ用IC。新規受注獲得により、今後の受注拡大を目指す。

パワーデバイス

IGBT、および電気二重層キャパシタに注力し、さらなる拡販を図る。

自動車部品メーカー主要取引先に対する特定商品の売上推移

カーナビゲーション、およびハイブリッドカー向けの商品は好調な売上推移をみせており、今後もさらなる売上拡大が見込まれます。



「パワーデバイス」は現状受注実績が皆無のため、グラフ上の表記から省いております。

4. 新商材・新事業の探求

「新しいビジネスの創出」
として新商材・新事業の探求に注力してまいります。

経営資源の投入

新商材・新事業の探求

新しいビジネスの創出

新規取扱品の拡大

新規市場への投資と拡販

液晶のラインナップ追加
(セカンドソースの拡充)
自社ブランド新製品開発
海外商材の拡充

大洋電機の子会社化
セキュリティ
ヘルスケア

機会損失の低減

事業の拡大

5. ソリューションビジネスの推進

メーカー機能と技術開発能力の拡充により、「技術商社への成長」を図ります。
また、自社ブランドによる付加価値向上や利益率の向上を推進してまいります。

経営資源の投入

ソリューションビジネスの推進

メーカー機能

技術開発能力

MA TECHNOLOGY INC.

(フィリピン現地法人)

【工場床面積】

約9,300㎡



【生產品目】

オプトデバイス、
車載向けボードアセンブリ、
プリンター用ハーネス等

【自社ブランド製品】

ユニット製品、
ソフトウェア関連製品、

【OEM製品】

工作機械用制御基板、
カーナビゲーション用制御基板、
電磁調理器向けIHコイル、プリンター用ケーブル、
カーエレクトロニクス用制御基板、等

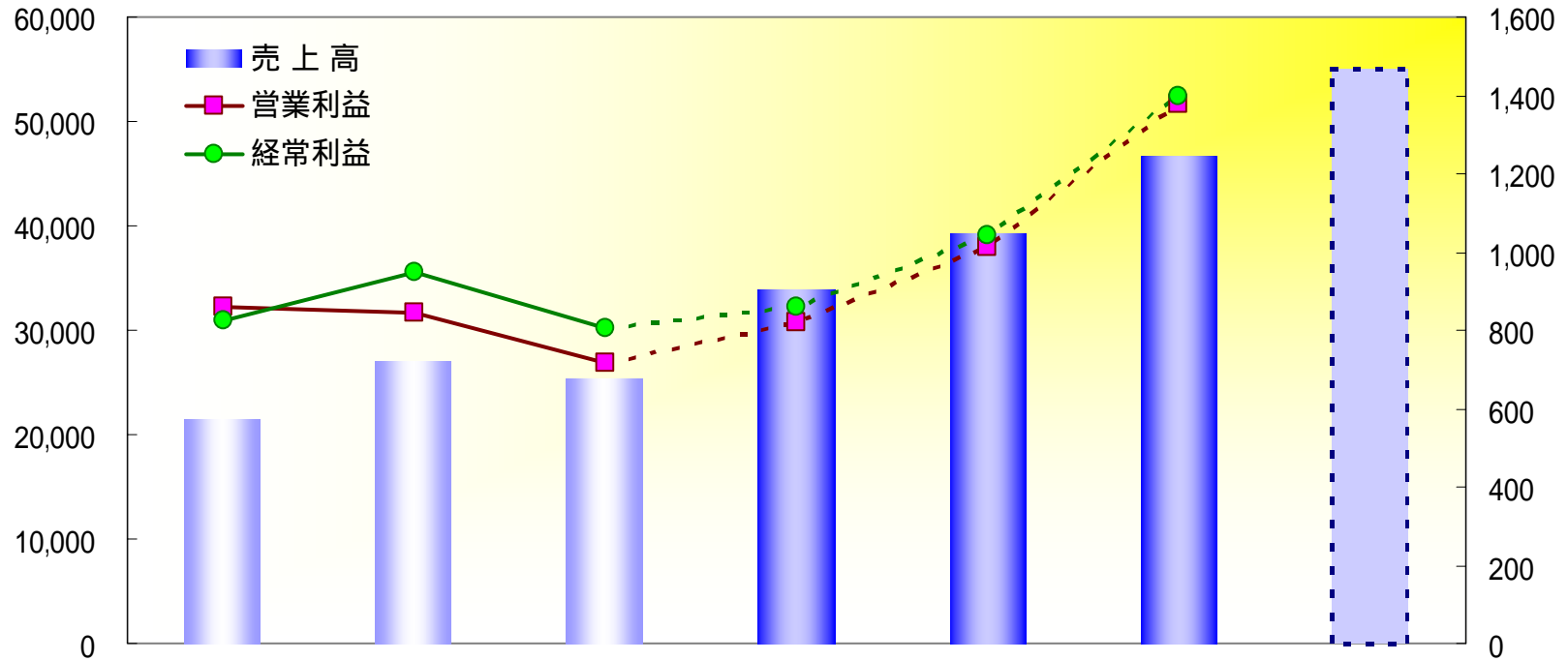


6. 中期業績計画

中期業績計画 (連結)

(売上高: 百万円)

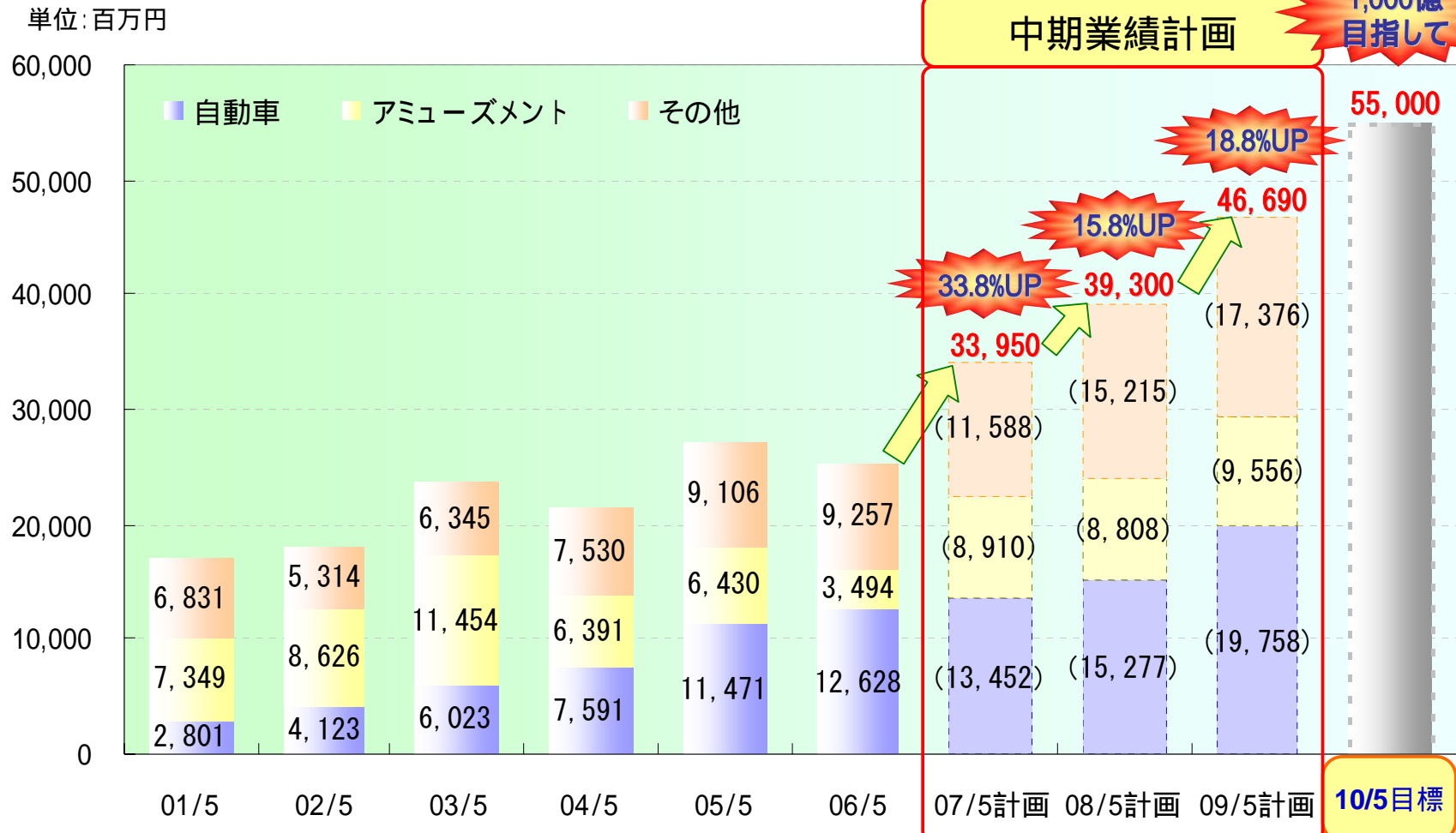
(営業利益、経常利益: 百万円)



	2004年5月期	2005年5月期	2006年5月期	2007年5月期	2008年5月期	2009年5月期	2010年5月期
	実績	実績	実績	中期経営計画 (Mitachi Vision 2008)			目標
売上高	21,513	27,008	25,380	33,950	39,300	46,690	55,000
営業利益	860	843	714	820	1,010	1,380	
経常利益	826	946	803	860	1,040	1,400	

6. 中期業績計画 (業種別)

業種別中期業績計画 (数値目標)



2001年5月期は連結しておりませんので単体売上高で表示しております。

7. 経営トピックス

大洋電機株式会社の子会社化

平成18年3月31日

大洋電機株式会社の株式を取得(子会社)



M.A.TECHNOLOGY,INC.工場新設・設備増設

第一工場移転に伴う、工場の新設
ならびに生産設備の増設



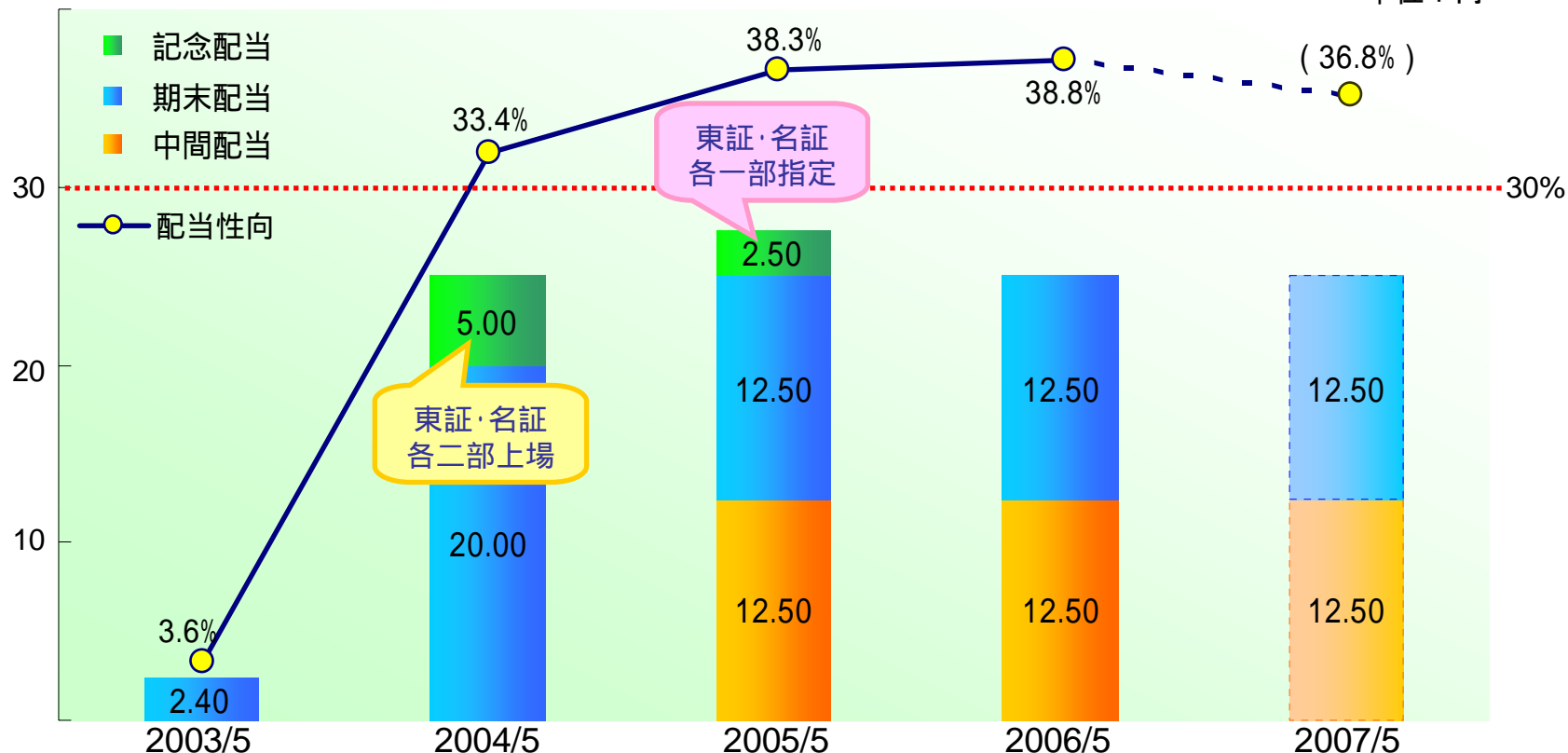
超小型PCボードコンピュータ 新製品開発

「MIU Card 7001」 「MPT-7001」 「MIT-7001」
新商品ラインナップの登場



当社では財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考えており、配当性向は30%程度を目安としております。

単位：円



※ 2003年5月期以前の配当額は、2003年9月1付で普通株式1株につき50株の分割を行ったことに伴う修正値にて表記しております。

※ 2004年5月期は、東証・名証各二部上場記念配当を行っております。

※ 2005年5月期は、東証・名証各一部指定記念配当を行っております。

※ 配当性向は、ミタチ産業(株)の1株当たり配当額を、1株当たり当期純利益(連結ベース)で除して算出しております。



 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ先：経営企画グループ TEL : 052-332-2512
E-Mail : ir@mitachi.co.jp